

めざす子ども像

**地域を愛し、思いやりのある子ども**

取組目標

**地域と学校園が連携・協働し、子どもが参画する取組の充実**

今年度の取組紹介

## ・羊プロジェクト

小中学校の北側斜面で羊を放牧するようになって始まった羊プロジェクト。今年は、地域ふれあい文化交流会で中学校のクラフトデザイン部の生徒と地域のおとなと一緒に販売活動を行うことができました。羊毛を使ったクラフト活動をするボランティアグループ、通称「ひつじ部」が発足され、新しい羊毛クラフトを企画、販売準備をしています。



## ・夏休み子どもプロジェクト

幼稚園児～小学校低学年の児童向けに「株式会社わかさ生活」さんにご協力いただき、ブルーベリーを使ってみんなでジャムを作りました。「みんなの里山」で収穫した地域育ちのブルーベリーも入れ、富雄第三中学校区のオリジナルブルーベリーパフェが出来ました。

小学校高学年～中学生は、羊プロジェクトと絡めて、羊毛を紡ぎをボランティアの方々と一緒に体験しました。



今年度のまとめ

- ・月ごとの活動報告とボランティア活動募集の情報を掲載している「学校支援情報」を毎月発行し、地域回覧をしたことで、ボランティアに興味を持つ人や参加する人が増えました。
- ・学校園と地域を結ぶ「地域コーディネーター」に加え、奈良西養護学校の子どもたちと地域のおとなや子どもたちが交流するために養護学校からの人材をコーディネーターとして迎えることができ、様々な人とのふれあいを実現することができました。
- ・今年度から新たに取り組み始めた「放課後学習」では地域のおとなたちと近隣の近畿大学農学部が中学生の学習を補助することができました。

来年度に向けて

- ・学校園だけではなく、地域に出かけていく活動を広げていきたいと考えています。
- ・子どもたちが企画の段階から参加できるよう計画を立てて進めていきます。
- ・活動を充実させ、さらなる発展につながるよう、コーディネーターの育成に努めます。

めざす子ども像

## 地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域や幼小中のつながりを大切にし、さまざまなかかわりを持ちコミュニケーション能力の芽生えを培う。

### 今年度の取組紹介

教員が会議などで部活動をみることができない時間帯に地域の方が校内を巡回してくださる「部活動見守り」や、放課後の時間帯、長期休業中などに生徒が自学自習する場で見守りと支援をしていただくなど、地域のボランティアの皆様にご支援をいただきました。学習支援については、学力向上のために大変有効な手だてであり、今後も内容や運営方法を改善し、継続していきたいと考えています。

今年度、新しい取り組みとして、受検を控えた9年生の面接練習に地域の皆様のお力をお借りしました。民間企業など第一線で活躍されている皆さんによる面接練習、指導に、生徒たちは緊張しながらも、非常に有意義であったという感想を残しています。今後も、こうした取り組みを継続、拡大していきたいと考えています。



### 今年度のまとめ

地域教育協議会設立から7年、年ごとに、地域と小中学校との結びつきが強まってきました。環境整備支援、読書活動推進、学習支援、キャリア教育への支援の他、部活動の見守り活動等、多くのボランティアが参加してくださっています。子どもたちと地域の方々とが出会い、ふれあい、多くの経験をすることで、大人も子どももこの地域の中での存在意義を強く意識することができました。また、「めざす子ども像」について学校と地域との話し合いの機会をもって「思い」を共有したことは、小中一貫教育推進の大きな推進力となりました。一方、多くの方にボランティア登録していただきながら、参加していただく機会が少ないことが課題で、今後とも、改善していく努力が必要と考えています。

### 来年度に向けて

地域の方々やボランティア、保護者、教員に「学校支援情報」と「ボランティアカレンダー」の配布やホームページによる広報を継続しながら、学校もボランティアもともに「良かった」と思えるような活動内容と、十分な活動機会を設けるように工夫改善を進めていくことが大切だと考えています。

学校と地域が連携をより密にして、子どもとおとなが協力・協働する場を模索し、おとなも子どもも自分たちが「地域の中で役に立っている。」と思えるような取組にしていくために力を注ぎます。

めざす子ども像

## 地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域や幼小中のつながりを大切にし、さまざまなかかわりを持ちコミュニケーション能力の芽生えを培う。

### 今年度の取組紹介

本年度は例年にも増して地域の皆さんと児童との交流が盛んに行われました。地域の方からいただいた花苗を児童と地域の方とでいっしょに定植するなどの環境整備活動の他、さまざまな授業や活動で見守りや支援をいただき、子どもたちの学習活動が大変充実したものになるとともに、子どもたちも自分たちが暮らす地域への理解を深め、地域の皆さんとのつながりを深めることができました。

毎日の登下校時の安全見守りや、JAの協力を得てのバケツ稲作り、平和学習や地域を知る学習、障害者理解の授業での盲導犬とのふれあいなど、地域の方のご協力により、学習内容を深めることができました。こうしたつながりを、より深めていきたいと考えています。



### 今年度のまとめ

地域教育協議会設立から7年、年ごとに、地域と小中学校との結びつきが強まってきました。環境整備支援、読書活動推進、学習支援、キャリア教育への支援の他、部活動の見守り活動等、多くのボランティアが参加してくださっています。子どもたちと地域の方々との出会い、ふれあい、多くの経験をすることで、大人も子どももこの地域の中での存在意義を強く意識することができました。また、「めざす子ども像」について学校と地域との話し合いの機会をもって「思い」を共有したことは、小中一貫教育推進の大きな推進力となりました。一方、多くの方にボランティア登録していただきながら、参加していただく機会が少ないことが課題で、今後とも、改善していく努力が必要と考えています。

### 来年度に向けて

地域の方々やボランティア、保護者、教員に「学校支援情報」と「ボランティアカレンダー」の配布やホームページによる広報を継続しながら、学校もボランティアもともに「良かった」と思えるような活動内容と、十分な活動機会を設けるように工夫改善を進めていくことが大切だと考えています。

学校と地域が連携をより密にして、子どもとおとなが協力・協働する場を模索し、おとなも子どもも自分たちが「地域の中で役に立っている。」と思えるような取組にしていくために力を注ぎます。

めざす子ども像

## 地域を愛し、思いやりのある子ども

取組目標

地域や幼小中のつながりを大切にし、様々なかかわりを持ちコミュニケーション能力の芽生えを培う。

今年度の取組紹介

文楽であそぼ

講師先生の指導の元、地域ボランティアさん、育友会ボランティアさんを募り、文楽人形を教えていただきました。子ども達の興味に合わせた台本を考えてもらいました。6月の本番に向けて、4回と限られた練習でしたが、配役決め、小道具づくり、人形の使い方等みんなで相談しながら、真剣に楽しく練習を重ねました。当日は、地域の方々、保護者、子ども達とともに、感動する白熱の演技を鑑賞でき、貴重な経験ができました。



ワクワクタイム (リズム体操)

運動会でのクールダウン体操をしました。地域在住の方にインストラクターとして招き、地域ボランティアさんや保護者も交えてみんなで楽しめるように企画しました。子ども達と共通の経験をすることで、会話も弾み、運動会当日は、講師の先生と当日来られた方にも参加してもらい、楽しい一時を共有することができました。



今年度のまとめ

- ・地域の方々や保護者に協力していただき、様々な事業を始め、たくさんの、経験を重ねることができました。子ども達は、一つ一つの感動体験を味わう中で、「楽しかったね。また、やってみたいなあ。」と次につながる意欲が生まれてきたと思います。
- ・地域の行事に参加することで、幼稚園の子ども達のことを広く地域の方々に知ってもらえる機会になりました。また、小中学校、奈良西養護学校、未就園児、保育園との交流、近大生や一人暮らしの方達など様々な人たちとの関わりを重ねることにより、やさしさや思いやり、相手の気持ちに気付く心が育ってきました。

来年度に向けて

次年度も地域の方々や保護者の協力をいただきながら、様々な人たちとのかかわりを大切にし、コミュニケーション能力を向上するために、豊かな経験を多く取り入れていきたいと思っております。